

キーワード	生活困窮者	貧困・格差	緊急支援	フードバンク	活動地域	千葉県
事業名	貧困層の助け合いとしてのフードバンク事業					
事業年度	平成 24 年度	助成金額	2,997 千円			
団体名	企業組合 労協船橋事業団					
所在地	〒263-0023 千葉県千葉市稲毛区緑町 1-25-11 コーポ立花 101 ワーカーズコープちば サポートセンター オアシス内 TEL : 043-375-6804					
団体HP	<a href="http://foodbank-chiba.com/">http://foodbank-chiba.com/</a>					

## 事業の背景

- ◆千葉市では市民の約 50 人に 1 人が生活保護の利用をしているなど、生活保護率が高くなっており、特にリーマンショック以降は就労が可能な年齢に関わらず、失業等によって収入を失い、生活保護を受給する人が増加する深刻な状況です。
- ◆働く能力を持っているにもかかわらず、「何もしない」まま社会から孤立して生活していかざるを得ない状況や、軽度の障害・疾病のため、一般労働市場への就職が困難な人たちへの公的な支援施策は十分とはいえず、支援が必要な人が孤立している状況です。

## 事業の概要

- ◆助け合いによる社会的セーフティネットをつくることを目的に、軽度の障害・疾病や年齢などを理由に就職することが困難な人が集まり、ランチミーティングや食品の寄付、分配などといったフードバンクの作業を行いました。  
ランチミーティングでは、孤立しがちであった生活困窮者同士が、ランチミーティングに来ない利用者の様子を気にかけて声かけをしたり、相談し合うなどのつながりが生まれました。またフードバンクの作業を通じて就労意欲が高まり、アルバイトなどに繋がったケースもありました。
- ◆また、団体の取り組みの認知度を高めるために、啓発活動を行いました。千葉県でフードバンクを導入するのは初めてであったため、HPを立ち上げて情報を発信したりシンポジウムを開催して、報告書の作成を行うことを通じてボランティアなどの協力者が増え、地域の方にも知られるようになりました。

### ここに注目！

- 👉 食糧を集め、配布するといったフードバンクの作業に当事者も参加することで、就労意欲が高まったり、作業を一緒に行う仲間を作ることができ、社会や人とのつながりができました。当事者の主体性や自発性を養うことにもなりました。
- 👉 保健所圏域ごとに点在する中核地域生活支援センターや社会福祉協議会などと地域の現状と問題意識を共有しながら事業を進めたことで、県下に事業の理解が進みました。